

児童生徒質問紙から 学習状況や生活習慣について

小学生の○強みと▽弱み

- 朝食を毎日食べている割合が高い。
- 将来の夢や目標を持っている割合が高い。
- ＩＣＴ機器を活用することができる。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている児童が多い。
- ▽自分には良いところがあると回答した割合が低い。
- ▽毎日、新聞を読んでいる割合が低い。
- ▽地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある児童が少ない。
- ▽総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると答えた児童が少ない。



児童の学習意欲を引き出すために、引き続き、算数科での習熟度別学習（３～６年生）やチームティーチング（１・２年生）を有効に活用していき、魅力的な授業になるよう、基礎・基本の定着はもとより、発展的な学習を取り入れたり、日常生活とつなげる目をもたせたりする学習をしていくよう努めていきます。

自分に自信がない傾向が見られ、すべての学習活動で自尊感情が高まるような活動を計画していきます。児童に任せたり、児童が試行錯誤する過程を褒めたり励ましたりするようにしていきます。また、自分で課題を見つける活動は、総合的な学習の時間だけでなく、自主学習でも取り組ませているので、「家庭学習の手引き」を活用したり、よりよい自主学習をしている児童の取組を紹介したりして、自ら課題を見つけて追究する活動の充実を図っていきます。

職員全員で学校の成果と課題を共有するだけでなく、課題にどう対応するかを考え、授業改善をし、その結果を検証するサイクルが滞らないようにしていきます。

今後も、学習習慣の定着・学習時間確保のため、生活習慣の見直しを含め、各家庭でのご協力をお願いします。

中学生の○強みと▽弱み

- 朝食を毎日食べている生徒、家で自分から計画を立てて勉強をしている生徒が多い。
- 将来の夢や目標を持っている生徒、自分で決めたことをやり遂げようとしている生徒、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している生徒が多い。
- 学校の規則を守っている生徒、人が困っているときは、進んで助けている生徒が多い。
- 数学、英語の授業が好きで、授業の内容が分かっている生徒が多い。
- ▽家庭で読書をしている生徒の割合が他の項目に比べて低い。

昨年度、今年度とも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一連の行事・活動の中止・延期・規模縮小等を余儀なくされましたが、これまで、学校（学年・学級）だより、学校ホームページ、体育祭や文化祭などの学校行事、授業参観・懇談会、部活動参観などを通して、家庭や地域へ向けての情報発信を積極的に行ってきました。さらに地域連携の取組として、土曜授業を活用した交通安全教室（地域の警察署や自動車学校による）や陶芸教室（地域陶芸教室の方による）、職業体験（地域の会社、企業等）、地域の文化祭へ作品を出展、ブラスバンド部における訪問演奏活動（町民文化祭、サマーフェスタあさひ、老人ホーム慰問等）を積極的に行ってきました。これまで培ってきた学校と家庭、地域との信頼関係の構築があるため、生徒達は大きな影響を受けることもなく、この状況の中で自分たちはどうあるべきか考え行動する力を育んでいます。

今後も、中学校からの情報発信を積極的に行い、地域唯一の中学校として生徒・保護者に地域活動への参加を一層呼びかけ、地域活性化の取組を地域と学校とが連携しながら進めていくことが大切であると考えます。その中で、学校の取組に対する意見をいただき、保護者や地域の方とともに子どもたちにとって居心地のよい学校づくりを進めていけるようご協力をお願いします。

さらに詳しい結果の公表は朝日町の公式ＨＰをご覧ください。 <http://www2.town.asahi.mie.jp/>